



会報第67号  
 宮城県宮城第一高等学校同窓会  
 会長 東海林 弘子  
 所在地 仙台市青葉区八幡一丁目6番2号  
 電話・FAX 022(261)7855(同窓会専用)  
 E-mail info@miyaldousokai.com  
 振替 02290-2-5964  
 同窓会会報編集委員会  
 印刷 仙台市青葉区春日町8番34号  
 創文印刷出版株式会社

### 新会長就任

前会長の辞任を受け、三ヶ月間の会長代理期間を経て、令和五年四月新会長が就任しました。



同窓会会長 東海林 弘子

「変わらぬご支援を！」

新型コロナウイルス感染症に振り回され同窓会活動も行事の中止や変更を余儀なくされ続けた三年余でしたが、会員の皆様にはお健やかに過ごしていただくことを願っています。

同窓会事務局の仕事に関わりを持つようになってから三十余年、今回会長の役をお受けすることになりました。宮城一高同窓会の基本姿勢は「①思想・信条的に中立 ②営利はご法度」ということですが、先輩諸

君が長年に亘って築いてこられたこの伝統を継承しながら、他方見直しが必要かと思われるところには適宜手を加えながら会の運営を進めてまいります。

さて、新型コロナウイルス感染症の問題が少しずつ落ち着きを見せ、同窓会でも九月、会食を伴わない形ではありましたが、四年ぶりに総会を開くことができました。また来年三月には『新校舎落成記念・会員名簿』発行の予定です。名簿の発行は同窓会活動を円滑に進める上で不可欠なもの



(高16回)

ですが、お一人でも多くの方にご購入いただき、会員同士の親睦や絆が一段と深まることを願っております。

今後とも皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。



前会長 戸塚 静江

### 四年ぶりの総会を終えて

先日待ちに待った新校舎の凛々しい姿が顔を現しました。本当に嬉しいことです。

四年間の会長でしたが、コロナ感染が収まらず、この三年間は総会を開催できなかったのがとても残念なことでした。

その中でも各年度の総会担当学年の皆さんが一生懸命準備を進めてくれたことに感謝いたします。



校長 佐藤 浩之

会員の皆様には、常日頃より母校に対する温かいご支援をいただき、心より感謝致します。私、この四月の異動で、古川黎明中学校・高等学校より本校に赴任致しました。前任者同様、よろしく願致します。

さて、学校ですが、四月に二百八十名の新入生を迎え入れ、令和五年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症も五類相当の扱いとなり、感染予防に努めな

がらではありませんが、ほぼ流行前と同じような教育活動を進めることができました。ようになりました。体育祭や歌合戦、秋桜祭では、生徒の笑顔と歓声が会場内に溢れ、本来の学校の姿を取り戻しております。また、部活動の大会も有観客で行われるようになり、陸上、文学、競技かるた、囲碁、放送の個人や団体が全国大会に出場しております。次代を先取りする形で設置され

た探究科も一・二年次が揃い、来年は完成年度となります。さらに、県内有数の施設・設備を誇る新校舎の運用も始まりました。諸先輩方が築きあげてきた伝統を大切にしながら、新たな宮一の創造に力を尽くして参りたいと思っております。

最後になりましたが、母校の発展と会員相互の親睦を目的とした同窓会の益々の盛況と皆様のご健康を祈念して、挨拶とします。

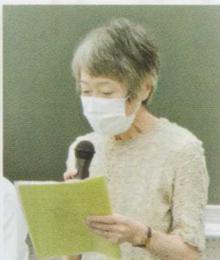
(高20回)

# び学び舎に集う

9月9日(土)、令和5年度同窓会総会が宮城県宮城第一高等学校秋桜館にて開催されました。総会直前には台風が直撃する可能性もありましたが、当日は4年ぶりの開催を祝うような快晴となり、来賓12名を含む113名の参加があり盛会となりました。



総会準備委員長の開会挨拶



会長挨拶

続いて、今年度赴任した佐藤浩之校長から、「歴史と伝統のある宮一に赴任することになり緊張し、身が引き締まる思いです」とのお話があり、現在の母校の様子について今年は二百八十名の新入生を迎え入れ、無事宮一の四大行事である体育祭、歌合戦、秋桜祭、球技大会を行うこと

ができ、特に秋桜祭には千名を超える方が来場し、生徒もマスクを外して大いに楽しんで、部活動でも素晴らしい成績を残していること、現在工事中の新校舎の様子などについて説明があり、新校舎完成の暁にはぜひ同窓生にも来てほしいとお話もありました。

その後、来賓の先生方が紹介され、議事に入りました。同窓会副会長の佐藤響子さん(高37回)が議長を務め、令和四年度行事報告・会計決算報告及び監査報告、令和五年度行事予定案・会計予算案、同窓会会則改定等についての協議が行われ、全議案について拍手をもって承認されました。

議事終了後に、新旧会長から挨拶がありました。前会長の戸塚静江さん(高20回)から「コロナ禍により三年間開催できず、やっと総会が開催され、ほっとしています。会長として四年間を過ごしてきましたが、同窓会がますます発展しますよう祈念します」とのお話があり、東海林会長から、戸塚前会長の長きに亘る尽力への感謝の気持ちを込めて、花束の贈呈が行われました。



花束贈呈

続いて、「人生百年時代、フェムテックについて学ぶ」

女性が生きやすい世の中へフェムテックとは」と題した奥村智子さん(高51回)による講演が行われました。

名残惜しくも閉会の時間となり、出席者全員で校歌斉唱を行いました。母校の学び舎で再び校歌を歌うという高揚感を感じながら、世代を超え会場の全員が一つになりました。最後に、草岡利恵さん(高41回)が閉会の挨拶をし、今年度の同窓会総会は盛会のうち幕を閉じました。

本年度は、例年と異なり会食を行わない総会となりましたが、会場では、開会前や閉会後に、旧友や先生方との再会を喜び合う明るい声があちこちから聞こえてきました。また、会場には、先生方から寄せられたメッセージコーナーも設けられ、じつくり先生方の言葉を噛みしめるように読んでいる方の姿も見受けられました。

また来年、元気な姿でお目にかかることを楽しみにしています。



校歌斉唱

## ご出席の先生方

(順不同・敬称略)  
客員(旧職員)  
穀田 恵子  
庄子 英利

特別会員(現職員)  
佐藤 浩之  
飛鳥 貴  
西澤 朋子  
狩野わか子

金野 和男  
東海林弘子  
山本 博  
永沼 幹子  
雪江 美穂  
中田理恵子

## 出席者にインタビュー



庄子英利先生  
第31代校長  
平 28・4・30・3

平成三十年に宮一を退職して聖和学園で一年間副校長、四年間校長を務め、今年四月から無職です。今は、町内会の会長を務めて六年度で、先週の土日も夏祭りの主催などに尽力していました。今やりたいことは、マイカーでの日本一周と、減りゆくローカル線、特に三陸鉄道リアス線に乗ることです。宮一には校長として二年間いました。宮一との出会いはもっと古く、高校時代(仙台一高)に所属していた放送部で、宮一の放送部と交流があり、宮一の放送室に入ったこともあり。宮一で最も驚いたのが卒業式です。卒業式でドレスアップ(仮装・コスプレ)した生徒を前にして、思わず卒業証書を読む声が震えてしまいました。同窓会総会に参加してみても、こんなに多くのOGが母校の教員となっている学校は多くないと思います。包容力のあるOGが多く、講演後の質疑応答のやりとりや、参加者の理解力をみて改めて素晴らしいと思いました。



丹野雪充さん  
(高35回)

高校時代を振り返りまず思うのは、自由な校風でのびのびと高校生活を過ごすことができたことです。高校時代で一番印象にあるのは、文化祭実行委員として中夜祭の行事を盛り上げたことです。今も高校時代の友人とのつながりが様々な場面で続いていることを嬉しく思っています。総会に出席するのは十数年ぶりで、講演の内容にも興味があつて楽しみにしていました。総会に参加してよかったと思いました。



酒井佳世子さん  
(高51回)

四年ぶりの開催にあたり、幹事の皆さま、係の皆さま、本当にお疲れさまでした。大成功に終わったのではないかと思います。秋桜祭、体育大会が今年は無事に開催できたこのことをお聞きし、当時、各々仮装用の衣装を作って仮装して参加したことが思い出されます。この度の同窓会では、古典の恩師である東海林奥村さんの講演について、普段からフェムテックについて興味を持っていたので、人生百年時代、女性が元気に暮らしていく上で、様々な解決策やアプローチがあることを知り、熱心に講演を拝聴することができました。次年度も、今年度と同様に充実した素晴らしい会になることを祈念致します。

# 令和5年度 同窓会総会 四年ぶりの開催、ふたたびの動き

## ふたたびの動き

### ★常任幹事会・臨時幹事会

戸塚静江会長(高20回)の辞意表明に伴い本年二月四日常任幹事会並びに臨時幹事会が開かれました。メイン議題は「新会長選出」です。早速同窓会会則内規」に従って選挙が進められ、三月十八日の臨時常任幹事会において新会長に会長代理・東海林弘子さん(高16回)が選出されました。「同窓会会則」では会長は九月の総会で承認を受けてから就任することになっていましたが、「会長代理」の肩書きでは会の運営に支障を来すため、今回は二月の常任幹事会並びに臨時幹事会で承認されたとおり特例措置として「四月に就任し、九月の総会で承認を受ける」という形での会長就任となりました。

### ★新入会員

(高75回生272名)卒業生総数 三万三千五百十九名  
クラス幹事

- 一組 黒川礼望 菅原美緒
- 二組 有光完太 松本優翔
- 三組 渡邊羽奈
- 四組 遠藤七海 齊藤友南
- 五組 伊東花梨 糟谷仁子
- 六組 佐藤凜音 鈴木里沙
- 七組 齋藤あおい 堤 華穂
- 八組 吉田優歌
- 九組 千葉夕海平 野宮朱莉
- 十組 佐藤英真 丹野真蓉

### ★役員異動

戸塚静江さんが会長を辞任し本年一月から顧問に、東海林弘子さんが三ヶ月の会長代

理を経て四月一日から会長に就任しました。

また、今春の教職員異動によるご退職・ご栄転に伴い後藤和也前校長が顧問を退任され、新しく佐藤浩之校長を顧問にお迎えしました。

さらに、三月三十一日付で牛坂律子さん(高23回)が副会長を、山田リツ子さん(高10回)が常任幹事を、黒川和子さん(高22回)が監事を辞任し、四月一日付で佐藤響子さん(高37回)・芳賀由佳子さん(高44回)・四戸妙子さん(高48回)が副会長に、大野けい子さん(高35回)・荻野晶子さん(高40回)・舩澤美希さん(高45回)が常任幹事に、矢野由美子さん(高44回)が監事に就任しました。

### ★常任幹事会・幹事会

六月十日(土)午後一時より母校秋桜館柔剣道場において幹事会が開かれました。会長挨拶・校長挨拶の後協議に入り、行事・会計等がそれぞれ提案どおり承認されました。続いて「令和6年度以降の総会案内方法について」経費節減のための提案がなされ、貴重な意見交換の後承認されましたが、今後総会のあり方をも含め更に運営委員会での検討を加えることになりました。次に「同窓会会則」の一部改定について、内容を改定ではなく、現在の運営状況や実状に即した文言に改めることが提

案され、いずれも承認され、九月の総会に諮られることになりました。

協議の後には石巻の大川小の保護者であった佐藤敏郎さん(高36回)・佐藤かつらさんの夫君)による「3・11を学びに変える」と題する講演があり、「ハッピーエンドを迎えるためには今をどのように生きたらよいか」緊急時における意思決定・判断・行動することの大切さ)を教示いただきました。

## 令和4年度宮城県宮城第一高等学校同窓会会計決算書

【1】基本金 収入 (単位:円) 自:令和4年4月1日 至:令和5年3月31日

| 科目  | 予算        | 決算        | 増減   | 摘要   |
|-----|-----------|-----------|------|------|
| 繰越  | 8,372,011 | 8,372,011 | 0    |      |
| 雑収入 | 489       | 126       | -363 | 預金利息 |
| 合計  | 8,372,500 | 8,372,137 | -363 |      |

<別途> 東北電力株 864株×660円=570,240円(令和5年3月31日)

【2】経常費 収入 (単位:円)

| 科目      | 予算        | 決算        | 増減       | 摘要                 |
|---------|-----------|-----------|----------|--------------------|
| 繰越      | 841,896   | 841,896   | 0        |                    |
| 同窓生年会費  | 2,800,000 | 2,561,380 | -238,620 |                    |
| 在校生会費   | 504,000   | 497,600   | -6,400   | 600円×834名 返金あり     |
| 新入会員    | 280,000   | 272,000   | -8,000   | 1,000円×272名(高75回生) |
| 総会参加費   | 0         | 0         | 0        | 総会中止               |
| 基本金より繰入 | 600,000   | 600,000   | 0        |                    |
| 雑収入     | 24,104    | 42,848    | 18,744   | 利子、配当、寄付等          |
| 合計      | 5,050,000 | 4,815,724 | -234,276 |                    |

支出 (単位:円)

| 科目        | 予算        | 決算        | 増減       | 摘要                     |
|-----------|-----------|-----------|----------|------------------------|
| 1.事業費     | 2,925,000 | 2,610,164 | -314,836 |                        |
| 1)総会経費    | 1,000,000 | 707,103   | -292,897 | 総会案内、総会中止はがき、準備委員謝礼    |
| 2)会報発行費   | 1,400,000 | 1,310,834 | -89,166  | 会議費、印刷費、発送費、会報委員謝礼     |
| 3)会議費     | 200,000   | 260,111   | 60,111   | 常任幹事会交通費、臨時幹事会はがき      |
| 4)奨学費     | 250,000   | 258,394   | 8,394    | 学生会補助、卒業証書ホルダー、入会のしおり  |
| 5)支部助成費   | 75,000    | 73,722    | -1,278   | 東京1万円、他5,000円×12支部、手数料 |
| 2.事務局費    | 2,052,000 | 1,854,805 | -197,195 |                        |
| 1)人件費     | 1,300,000 | 1,294,300 | -5,700   | 事務員給与                  |
| 2)旅費交通費   | 100,000   | 1,720     | -98,280  |                        |
| 3)慶弔費     | 100,000   | 129,622   | 29,622   | 会長、副会長、常任幹事退任謝礼、葬儀式花束  |
| 4)通信費     | 100,000   | 42,613    | -57,387  | 電話料金、切手はがき             |
| 5)備品費     | 50,000    | 0         | -50,000  |                        |
| 6)消耗品費    | 50,000    | 57,430    | 7,430    | 事務用品等                  |
| 7)資料整備費   | 22,000    | 12,100    | -9,900   | 卒業アルバム代                |
| 8)情報システム費 | 310,000   | 299,268   | -10,732  | HPドメイン管理、ルーター等、システム追加  |
| 9)雑費      | 20,000    | 17,752    | -2,248   | ゆうちょ通知手数料              |
| 3.予備費     | 20,000    | 0         | -20,000  |                        |
| 支出計       | 4,997,000 | 4,464,969 | -532,031 |                        |
| 4.繰越      | 53,000    | 350,755   | 297,755  |                        |
| 合計        | 5,050,000 | 4,815,724 | -234,276 |                        |

## 「人生100年時代、女性が生きやすい世の中へ～フェムテックとは～」

奥村 智子(高51回)

東京でクリニックを開業し、国際フェムテック医療美容研究会代表としての活動、さらに雑誌・テレビなど多数のメディアに出演するなど、幅広く活躍する美容外科医の奥村智子さんが、フェムテック(※)について講演しました。

最初に、高校時代の写真も使いながら、親しみやすく自己紹介をしました。

講演前半はフェムテックの製品・サービスの分類、進化、人生100年時代を健康に過ごす課題について講演しました。

講演後半では、美容分野におけるフェムテックについて、貴重な症例の紹介を交えながら、健康寿命の延伸につながる医療の最前線での研究・実践についてお話があり、時間の過ぎるのがあっという間と感じるほどの充実した講演内容でした。

講演後のインタビューでは、「この日を楽しみにし、ワクワクしていました。このような機会をいただき、とても嬉しく思っています」と笑顔で答えていました。参加者一同、フェムテックについて学ぶ貴重な時間となりました。

※「フェムテック」とは、female と technology を組み合わせた造語で、女性が月経や出産、更年期などで経験する様々な女性特有の悩みを軽減、解決しようとする製品やサービスのことを言う。



母校訪問

青春って密

人生の一時であるものの、短くも濃密な「青春」、停まっていた時間が動き出しました。

試行錯誤を経ながら covid 19禍から、日常に戻りつつある母校の様子をお伝えします。



歌合戦

今年は数年ぶりに保護者も観覧できる準備が進められていましたが、直前の感染状況から生徒と保護者は youtubeライブ配信による体育館外での観覧となりました。観客席からの盛り上がりは見込めないで演者にとりて些か物足りなく残念だったかもしれませんが、今年の異常猛暑から逃れ、涼しい場所で大勢の方が友達や我が子の頑張りをしっかり観覧することができたのではないのでしょうか。

実行委員会による運営で開会式がスタートしました。発声方法の指導や審査員の抽選などが行われ、最後に「良い戦いを期待しています」とい



「秋桜祭」のステージ 演目として行われていたものが、二〇〇二年から夏休み前に単独開催される現在の形となったそうです。

た。それにしても十代の高校生だということに、人生は単純ではないということをよく理解してその複雑さを六分という短い時間に落とし込んでいるのには舌を巻きました。

圧巻は三年生で、背景の巨大画や衣装は手が込んでおり、どれだけ練習を重ねたかが推し量れる見事なパフォーマンスを終えた後には、全員がやり切ったという充足感に包まれていました。

結果は三年生が一、二、三位を占めました。大人顔負けの演技の後で入賞を喜ぶ姿は、無邪気な高校生の顔に戻っていました。

秋桜祭

今年の秋桜祭は、「宮一期待値最大値」というテーマで九月一日二日に体育館とプレハブ校舎で行われました。見学者には、受験予定者や関係者といった制限があったものの展示、発表などはほぼ例年どおり、ここ数年コロナのために制限されていた飲食物の提供なども許可され、久しぶりに宮一らしい秋桜祭を開催することができました。

受付を終えてプレハブ校舎に入ると「男装女装コンテスト」の投票があり、女子校時代を知る者が見ると共学校としての宮一の子供たちが眩しく感じられました。体育館に近づくにつれて弓道部員数名



▲Photoshopを利用した制作を実演。



▶プラタモリで話題になった部員百人地学部の岩石標本。

が笑顔で「射的いかがですか」と来校者に声をかけていました。弓道場へ行ってみると多くの来校者で賑わっていました。木製の射的銃はかなりの本格的で「射的、楽しかった」という声も多く聞かれました。

出店の多くは部活や委員会を母体としたものでしたが、中には「M展」のように個人名での出店もあり一際注目を集めていました。出演団体でも一年生が個人でピアノを演奏。少々暑い体育館ではありましたが、美しいシヨパンの音色がひととき清涼な風を運んでくれました。



栄光の記録 (令4・9・1〜令5・8・31)
●運動部
陸上競技 ▼新人大大会(女子) 走高跳一位、砲丸投三位、やり投三位
▼東北新人大大会(女子) 走高跳五位、砲丸投三位、やり投三位
▼東大会兼国体予選(女子) 走高跳一位、砲丸投二位
▼県総体(女子) 走高跳二位、砲丸投一位、やり投五位(東北大会出場)
▼東北大会(女子) 走高跳三位(インターハイ出場)、砲丸投七位

- 水泳 ▼新人大大会(女子) 一〇〇m自由形二位、二〇〇m個人メドレー二位、五〇〇m自由形四位(東北新人大大会出場)
▼東北新人大大会(女子) 二〇〇m個人メドレー六位
▼県総体(女子) 一〇〇m自由形三位、二〇〇m自由形二位(東北大会出場)
山岳 ▼新人大大会(女子) 団体一位、男子団体二位
▼県総体(女子) 団体二位、男子団体二位
▼東北大会(女子) 団体十二位、男子団体十位
テニス ▼新人大大会(女子) 団体二位(東北新人大大会出場)
▼県総体(女子) 個人ダブルス三位
弓道 ▼県総体(女子) 個人近的三位(東北大会出場)
ソフトボール ▼新人大大会 三位
▼東大会 東北女子ソフトボール大会出場
▼東北・北海道公立高校大会出場
▼第58回女子県高校選抜ソフトボール大会 三位
▼第37回県ソフトボール総合選手権大会 高校の部 優勝

●文化部 その他

- 放送 ▼第41回県高校放送コンテスト新人大大会 朗読部門 優良賞(2)、アナウンス部門 優良賞(東北新人大大会出場)
オーディオメモセリジ部門 優秀賞
▼第70回NHK杯全国高校放送コンテスト県大会 ラジオドキュメント部門 優秀賞(全国大会出場)
文学 ▼第37回全国高校文芸コンクール 小説部門 優良賞、短歌部門 優良賞、入選
▼第19回県高校文芸作品コンクール 短歌部門 優秀賞(2)、優良賞(3)
部誌部門 優良賞
▼第14回角川全国短歌大賞 特選
▼第18回全国高校生短歌大会(短歌甲子園) 出場
生物・理化・地学 ▼第75回県高校理科研究発表会 優秀賞(6)
美術 ▼第73回仙台市内高校美術展 優秀賞(2)
▼第75回県高校美術展 優秀賞
▼第83回河北美術展 洋画部門 入選
書道 ▼第71回県高校書道展覧会 推薦(2)、特選(4)、金賞(8)
▼第70回全国小中高児童生徒川開書道展 準大賞、特選、金賞(5)
▼第31回国際高校生選抜書展 入選



# 恩師と読書感想文と私の『道標』

高29回 吉川 由美

私の高校時代を色に例えれば、どんよりした鉛色。当時は打ち込めるものが見えない霧の中の日々でした。

そんな無彩色の記憶の中に輝きを帯びた一瞬があります。それは、読書感想文をめぐる思い出です。

私が選んだ本はアンソニー・バージェス著の『時計じかけのオレンジ』。暴力、ドラッグ、セックス、全体主義社会の不条理がこれでもかと描かれた小説です。自分自身の行き場のない葛藤を重ねて感想文を書いた私でした。

学校の宿題としては明らかにふさわしくなさそうなエピソード満載の感想文を、驚くことに、担任で国語の師でもあった越後谷稔先生はコンクールに出品したというのです。そしてある日、その常識外れの拙文が、最優秀賞を最後まで争って次点となった顛末を、先生は痛快な面持ちで話してくださいました。

の東日本大震災伝承館「南三陸311メモリアル」の展示制作も担当させていただきました。家も仕事場も家族も一瞬にして津波に奪

混沌とした日々を送っていた私に、小さな自信が生まれた瞬間でした。思ったことを、常識の壁を破って表現することの大切さに気づかせていただいたこと、心から感謝しています。

この体験は、東北各地でコンサートやダンス、演劇、国のセレモニー等を構成・演出する仕事の上で、私の道標になりました。

演出業と並行して、最近では、青森県八戸市の八戸ポータルミュージアムはっちでアート・プロジェクトを十年間ディレクションし、その後八戸市美術館の開館記念展のディレクターを務めました。

長年の仕事の信条は、地域に生きる人々が織りなす「地域社会の分母としての文化」を尊重することです。

昨年開館した宮城県南三陸町



# 「人生のみちしるべ」

高37回 鈴田 泰子

自然のふとこころに抱かれて山野をゆくとき、晴れ渡る空の色や澄んだ陽光、かすかな風に揺れる草花の風情に目を楽しませながら、気づけば無心になっ

星霜、ときには野生動物がcaじた跡さえ見つかるとの感触も味わい深いものです。音もなくたずむ道標は、私に「あちらへ行け」とか「こちらの道を選べ」などと指図がましいことを

感させてくれるのです。親しくしてくれた友人たち、一人娘の私をこれ以上ないほど慈しんでくれた両親、こんこんと湧き出る泉のごとくに豊かな知見を授けて下さった先生がた……一人ひとりの顔を思い浮かべていると、私のありふれた人生も、またとない格別なもののように思えてくるから不思議です。

朝な夕なに遠くから眺めて幾度となく足を運んでいる泉ヶ岳のように心安い山であれば、地形や植生などを手がかりに、自分のいる位置をすぐに思い出すことができます。まだそれほど

思えばこれまでに私が受けてきた教えも、あまたの人々とのかわりも、山中の道標に似ています。この広い世界にはさまざまな道筋があり、それらはどこまでも続いていて、どの方向へ進もうともきっとその先に光のさす野原や胸のすくような眺めがあることを予

まだ母校が一女高と呼ばれていた頃に毎日ぐった校門のそばの金木犀の香りさえ鼻先をくすぐるように思いつき、記憶の底に沈みつつある一つひとつのことが、気づけば私の心の拠り所となっています。これまでの私、いまの私にとってももちろん、これからの私にとっても、それらはかけがえない道標であるに違いないと信じています。

(東北福祉大学准教授)

見つけて、胸の内が何とも言えず穏やかな気持ちで満たされるのを感じます。それらの多くは雨風や吹雪にさらされて幾



### 動物園獣医師として働く

高50回 曾地 千尋

今、私は獣医師として八木山動物公園で働いています。仕事内容はまず園内動物の治療。一般的な動物病院とは違い、対象動物は卵より小さな爬虫類や鳥類から、七トンもあるアフリカゾウまで多岐にわたり、治療方法も様々です。サルや猛獣には麻酔や治療のために吹矢や銃を使ったり、キリンやゾウ、サイなどの大型動物は飼育職員と協力してトレーニング下での採血や削蹄を行ったりもしま



す。また、園内で感染症が発生しないように園内の衛生管理も行います。動物園の動物は生態や繁殖などわかっていないこともまだまだ多く、調査研究も仕事の一つです。特に、当園では現在人工繁殖技術の向上に力を入れています。中でも、世界的にもほとんど成功例がない、ホッキョクグマやスマトラトラなど希少動物の人工授精に大学の先生と共同で取り組んでいます。ホッキョクグマに

おいては、一年に一度の繁殖のチャンスに新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が出て先生を招けなかつたり、やっと成功したと思ったら死産だったり、なかなか困難な道のりですが、このペアの仔に会

いたいという一心で関係者一丸となって取り組んでいます。日々勉強の毎日ですが、充実した生活を送っています。

そんな私が獣医師を志したのは小学生の頃。きっかけとなったのは、当時読んでいた『動物のお医者さん』という漫画でした。高校生活ではいよいよ獣医系大学の受験を具体的に決めたものの誘惑が多く、意志が強い私には一人で勉強するのが難しいと考えました。そこで、毎日部活後に友人と自習室で勉強する約束をして、何とか続けることができました。浪人時代も高校の友人たちと励ましながらあうことでモチベーションを保つことができ、おかげで大学に合格することができました。子供のころからの夢である今の仕事に携わっているのは、共に歩んだ彼女たちのおかげだと思います。今でもたまに会いますが、それぞれ仕事に子育てに充実した生活を送っており、会うたびに刺激を受けます。高校で出会った友人たちが、昔も今も私の道標となっています。

### 一女三年間の私と今の私

高60回 和田 里香

図らずも、一女生として三年間を過ごす最後の世代となった私の高校生活は充実しながらも、怒濤のように過ぎていった思い出として残っている。

当時の私は勉強も好きではあったが、部活動のソフトボールにも熱中し、一日中仲間たちと運動に打ち込んでいた。そんな部内の仲間は普段からあだ名《部名》で呼び合うなど絆が深かった。そして、一女ではそうした部活にとどまらずクラス全員が友達という感覚が強く三年間とにかく毎日が楽しかった印象が強く残っている。授業でも自分の意見を言語化できる仲間たちに出会い、意見交換をする楽しさを感じていた。たとえ自分と波長が合わなくとも、自分と他者の意見どちらも尊重し、思い込みや偏見に流されない凛とした強さが居心地の良い空間を作り出していたと思う。

高三になり、放課後の教室でよく今後の夢を語り

合った。その夢は実に様々で、中には熱い思いを持ってその後のビジョンが明確なものもあった。そうした周りの仲間の夢の語りから、良い刺激を当時も受けていたとよく振り返る。

現在、私は千葉という少し宮城から離れた地の中学校で教鞭をとっている。私は人の役に立つこと、困っている人に手を差し伸べることをしたいと思いつつこの職に就いたが、職業柄大変な部分も多くある。そんな中、生徒たちには何度も感動させてもらい、これほどまでに感情を揺さぶられ、誰かの役に立っている職業はあるだろうかと思いついて。また、私生活では結婚八年目になる夫と可

愛い四歳の息子、今年新たに生まれる予定の第二子と過ごしており、皆私にとってかけがえのない存在となっている。

高校時代の私には、想像しえなかった今の私ではあるが、まだ人生折り返しにも満たない三十代。この先まだ長い未来はどうなるのか見当もつかないが、あの時、一女の仲間からもらった刺激を、今度は教員という職場、またプライベートでは大切な家族から感じ、これをまた楽しみながら人生の糧にしていきたいと思う。



# 各回だより

アンドウトロア

2023 「古希」

高23回

やっと開催できた第八回の同期会。新型コロナの影響が大きく、七年の準備期



間を要しました。

令和五年十一月十二日。同期生全員が古希を迎えてから「母校と我らのヒストリー」をテーマに開催。五十名の仲間が江陽グランドホテルに集いました。

この日に集まることを決定したのは母校の校舎が新しくなるのを待ったことでした。残念ながら工事の遅れで新校舎見学は叶わず、会の内容も二転三転しての開催となりました。

と。そして集う仲間がいることが幸せなことを実感させられる会がアンドウトロア・高校二十三回です。

還暦の時の会には、たくさんの方においでいただいたのですが、担任していただいた先生方の多くは他界されてしまいました。

今回は全員で記念写真を撮り、亡くなられた先生方や同期の方たちに黙祷を捧げてから始まりました。

まず実行委員長の川畑ゆかりさんからのご挨拶。母校のヒストリー紹介。「一女高百年史」から、ちょうど我らが入学した年が創立七十周年で記念館が設立されたことなど現在の百二十六周年に至る母校の歩みをお伝えし、高校時代を懐古するDVDを放映しました。

あの頃に戻って、楽しい時間はあっという間に過ぎました。

今回は最後と思って参加したとおっしゃる方もいらしたのですが、思いのほか二次会も盛会となり、次は四年後と八年後もまたみんなで集うことになりました。

(佐々木久美子)

## やっと会えたね!

高31回

「え、今年は友の葉の編集委員の年?!」連絡を取り合うと同期生の中にも闘病中の方や、亡くなった方もいました。世の中もようやく日常を取り戻しつつあるタイミングで「会うなら今でしょ!」まずは、集まろう!とSNSを駆使し(時代ですね)動き始めました。

二十年前、初めて総会当番の学年になった時協力してくれた同期の仲間たち。高校時代は「友達友達」だった人たちとも、大人になってから仲間になれました。同期会を開いて同期誌『三十一』も発行しました。

その十年後の会を開いた折に還暦同期会を約束していたのですが……コロナ禍でのオリンピックの延期とともに涙をのむことに。

あれから三年。八月、仙台の和食店に十六人が集まりました。中には神奈川から参加の人も。何年ぶりであるうと、顔を合わせた途端の笑顔と盛り上がるおしゃべりは高校時代と全く変わらぬ喧噪です。

はじめに亡き友への献杯を。彼女は通称デスク。クラス幹事のみならず卒業してからもみんなの応援団長でした。いつも元気だった姿が偲べれます。

そして話題は集まったみんながそれぞれの人生の岐路に差し掛かっていること。目の前に待ち受ける山は高く険しく、中でも全員が直面する親の介護と看取り。自分たちさえいつまで元気であり続けるか。生きるって本当に大変。二十年前には想像もしなかった六十三歳の姿です。

でも卒業してから四十五年。皆それぞれなのに一瞬で共感できる私たちが。同期生って不思議です。今回の再会を喜び、健

喜び、健



やかに年を重ねつつ今度は古希の会を目指して頑張ろうねと約束しました。(浅川 美子・栗村麻弥子)



- ・高16回 6月15日 ホテルモンテレ仙台 32名
- ・高18回 11月9日 日本茶屋やすき 10名
- ・高30回 5月28日 「音音」新宿センタービル店 23名
- ・高34回 11月25日 デュッカ 50名

二十三年ぶりの同期会

高51回

九月九日土曜日、母校秋桜館での同窓会総会の後、仙台駅東口イーストゲートビル二階「仙台キッチン」にて高五十一回生同期会を開催しました。

二十四名の参加。東京から誘い合わせてわざわざ駆けつけてくれた同期も何人もいました。

受付ではみなさん再会の喜びと少しの緊張が入り混じった様子でした。初めの挨拶で総会準備委員長の高島が、総会の無事終了を報告、手伝ってくれた仲間への感謝、同期会が実施できたことへの感謝を伝えました。それから、くじを見事

引き当てた柳沢妙さんが元気に乾杯の音頭を取ると、会場の空気が一つになり、話がだいに盛り上がりま

した。今回の総会準備で、タイ・バンコク在住の弘末亜樹子さんが席次表を作成してくれました。感謝の気持ちを伝えたい！と、ZOOMで繋ぎ、弘末さんと交流しました。弘末さんが「楽しかったです！またつながれたことが嬉しかったです」とメッセージをくれました。

二時間半の一次会の後、帰路につく仲間を見送り、十八名で二次会へ。仲間との時間を目いっぱい楽しみました。

グループLINEでシェアした感想を紹介します。



「時間を忘れておしゃべりしたのは久しぶりでした」「久しぶりにとっても楽しかったです！」「相変わらずの華やかな皆さんのオーラを感じて、いい高校時代だったなあと改めて思いに耽ることができました」「久しぶりの一女パワに圧倒されました。老けたとか疲れたとかぼやいていられないと元気をいただきました(笑)」。また会おうね！と再会を約束しました。

(高島加奈子)

弔意

令和五年九月末日までに同窓会事務局宛に直接お寄せいただいた方です。

Table with 4 columns: (敬称略), Name, Address, and Date. Lists names of members who have passed away, such as 旧職員 小林 恒夫 and 旧職員 林 義昭.

「出展」佐藤 道子 (高21回)

縦 130.3 cm × 横 162 cm 1991年



-コメント- この作品は、手製白亜下地にテンペラと油絵で描いています。高校生の長女の成長と自立がテーマです。当時住んでいた宿舍の壁を破って元気に飛んでいく人の姿に表しました。

北から南 (敬称略)

- 鈴木 信也(各員)
瑞宝小綬章
大泉 三保(高18回)
東北現代工芸美術展 奨励賞(染織)
森 眞澄(高20回)
宮城県芸術選奨
美術(洋画)(令和4年度)
大林美智子(高27回)
宮城県芸術祭
宮城県知事賞(文芸・詩)
蜂屋ひろみ(高38回)
河北美術展
岩手県知事賞(洋画)
伊藤 清美(高9回)
「幸村のむすめ」
針生美枝子(高4回)
「小紋章子水彩画展」
佐藤 道子(高21回)
「佐藤道子展」
及川 尚子(高31回)
「日本画展」学校ほんさいく」
大村斗喜子(高31回)
立体イラストレーション展
「喜色満面」
岸上まみ子(高39回)
「作陶展」
日下 育子(高41回)
石彫展
「Exhibition&Retail」
高橋 麻子(高43回)
「音楽の旅 第18弾」

会報編集委員会から

同期会の開催、受賞・受章、出版、個展・演奏会開催などの情報がありましたら宮一同窓会会報編集委員会までお寄せください。「はちの巣」「北から南から」の欄で紹介させていただきます。

# 支部だより

## 三年ぶりの総会開催

東京支部

五月二十八日(日)東京支部総会を開催いたしました。今年には支部創立七十周年の記念総会です。

三年ぶりで参加者は少ないかもしれない、という役員心配をはねのけるように早い時期に参加申し込みが百人を超えました。

企画は一部がビューティーズ(高30回生有志)による音楽劇公演。主人公が二十世紀の東京から七十年代の仙台にタイムスリップするという壮大な物語です。プロの演奏に乗って一女のためきセーターと制服姿の主人公が現れると会場から声があがります。華麗なダンスに目を奪われ、サザンはじめ当時の流行歌に声をあわせ、大笑いしたり涙をこぼしたり。会場の一人ひとりがかつての自分を重ねながら楽しみました。

第二部は三人の同窓生に

よるリレートーク。高十回生武者忠子さんはバドミントンに打ち込んだ青春。高十七回生の笹川智恵子さんは修学旅行の思い出。高二十三回生高橋悦子さんは制服自由化に向かった頃の一女高を語ってくださいました。「もっと聞きたかったです」のお声を沢山いただきました。

記念事業を終えて来年からは通常の総会に戻ります。

食事を共にしながらの交流と、活躍する同窓生の講演に刺激をもらうという支部総会の「基本の形」を維持していきたいと思えます。

来年は五月二十六日(日)開催です。講演者は高



二十七回生高橋雅子さんです。首都圏以外にお住まいの方もどうぞご参加ください。

(高27回 西方 郁子)

## コロナ禍を乗り越えた 秋田支部会

三年ぶりに秋田に竿灯祭りや大曲の花火が戻ってきた二〇二二年十二月二日。第五十四回秋田支部会を、

雪の舞う中、秋田駅東口にある寿司店で開催することができました。

久しぶりに同窓生と対面で会い、秋田の美味しい料理を頂きながらおしゃべりできる幸せを実感できた日でした。

青春時代を仙台で過ごし、秋田県に移り住んだ人だから感じる思い……同

窓会の仲間だから話せる安心感があります。行く所、集まれる場所がある……これは大変嬉しい事だと思えます。

同窓会の集

まりを中止していた間に、二〇〇三年から十七年間の長きにわたって支部長として会を支

えて下さった佐野春子様(本41回)が二〇二〇年一月に天国に召されました。

佐野様はピアノの指導者として秋田県の音楽普及に貢献し、文部科学省地域文化功労者として表彰された方でした。

コロナ禍で支部長不在となったその間、事務局の三浦佑子様(高13回)が会の維持発展に尽くして下さいました。そして今年度から私がバトンを受け取りまし

た。実は私自身はコロナの濃厚接触者となり支部会当日は欠席でしたが、出席された皆様のお話を伺い、改めて秋田支部会の絆の強さ



を感じました。

会員の減少と高齢化は切実な課題ですが、同窓生が集まれる時と場所を少しでも長く継続できるようにしたいと思っております。皆様のご健康を心からお祈りいたします。

全国の同窓生の皆様。ぜひ秋田に遊びに来て下さい。

「なまはげ」がお待ちしております!

今年七月の大雨被害では皆様からご心配やお声掛けを頂き、本当にありがとうございました。

(高27回 藤井 恵子)

### はじける笑顔が！

岩沼支部

梅雨の晴れ間。七月九日(日)はちょうどそんな一日でした。

岩沼駅前には一人またひとり懐かしいお顔が集まってきました。本科四十二回の鷺尾信子さん、前支部長の三品陽子さんを筆頭に、いろいろな世代の同窓生が集合しました。

岩沼市は長く南学区だったために同窓生が増えず、支部に加わる方は私より年上の方も多く、高二十二回の私が「お若いかな」と呼ばれる数少ない集まりです。

総勢十六名が集合し、タクシーで太白区大野田の「梅の花」へ。ずっと集まることも会食することもできずにおりましたが、今年こそは何とかと思ひ支部総会を計画しました。今まで「総会」の形式を採ってき

ましたが、人数も少なくなり、とにかく岩沼在住の同窓生で集まり、近況報告などしながら気楽に会食をしてはどうかと考え、「会食の集い」として企画しました。お店に着いて一応開会のご挨拶。早速お食事です。隣り合った方と会話を楽しみ美味しいお料理に感激。まるで毎年お会いしていたかのように話も弾みます。こういう会話がなかったのです。楽しい時間もあっという



間に過ぎ、最後に記念撮影。この写真のはじける笑顔！女子高生とは言いませぬが、負けない若さです。レジ脇の売店でおみやげを買

うあたりはやはり歳相応かなどと思ひながら「またお会いしましょうね」と言葉を掛け合って帰路岩沼へ。同窓生っていいなあと思える素敵な会を開催することができ、幹事はほっと胸をなでおろした次第です。(高22回 菅野 一枝)

#### ★支部総会・懇親会

- ・福島支部 6月25日 郡山ヒューホテルアネックス 7名
- ・石巻支部 8月20日 石巻グランドホテル 23名

#### 取材メモ

今年の「恩師を訪ねて」は、同窓生の一通の寄稿文から始まりました。私たちは学校史の隅々まで読み、内容を一つずつ確認していきましたが、終戦を挟んでいたため資料が揃わず難航していた時、同期生が親子三代の一女生だったことを思い出したのです。何か糸口でも見つければと連絡したところ、驚くことにお祖母様の卒業アルバムに古谷先生のお写真を見つけ、ようやく坂井さんのお宅に取材に行くことができました。坂井さんはお写真を見ただけで大変喜ばれ、記事の掲載を伝える内容を確認されると、友の葉ができあがり、手にするまで元気がいなければと誓われておりました。改めて、母校の長い歴史と同窓生の絆を再確認しました。(高31回 工藤千賀子)

## 古谷辰三先生の思い出

恩師を訪ねて



本科50回 坂井美智子

私が一女に入学したのは昭和十八年でした。今でもとても忘れがたく、皆様にもぜひ知っていただきたいと思う先生がガラボシ先生というあだ名の教頭でもあった生物の古谷辰三先生です。

細身の古谷先生はいつも黒の詰め襟の洋服を着て、黒い髪をきちんと七三分

けておられ大変に威厳のあるお姿でした。初めての授業の時には教科書と一緒に片手にムチをお持ちになっ

ていて、とても怖い先生かと思いましたが、いざ授業が始まりますとイメージとは違ってひょうきんで授業も楽しく、教室に笑いの渦が起きることも度々。時には授業中に顕微鏡など気さくにのぞかせてくださった

ものでした。残念ながら授業の中身はほぼ忘れてしまいましたが「私の肺臓は二十代だ」といつもご自慢だったことだけは覚えております。三年生になると戦争が激しくなり勉強どころではな

く、農園での勤労奉仕の毎日でした。空襲で校舎が焼失(仙台空襲・一九四五年七月十日未明・当時元寺小路、茂市ヶ坂に有った校舎は全焼。仙台市中心部が焼け野原となりました)してしまつたときにも、先生は国民服にゲートル巻きの姿

でみんなの先頭に立ち、焼け跡整理、分散授業、校舎新築移転を始めとする学校復興に大変な尽力をされました。私の家も空襲で焼け、しばらくぶりに登校できたときに日焼けしたお顔の先生が「無事でよかった」と喜んでくださったのが今でも忘れられません。仙台空襲で亡くなられた同窓生の方

# ふるさとだより 新しい 青葉山公園

母校から約二キロメートル南に位置し、仙台市の礎である仙台城跡を含む青葉山から広瀬川に面して広がる青葉山公園。令和五年春には常設の仙臺緑彩館が開館するとともに、第四十回の開催となる国内最大級の花と緑の祭典「全国都市緑化仙台フェア」のメイン会場となりました。新たに生まれ変わった青葉山公園についてご紹介します。

## 青葉山公園とは

青葉山公園は、青葉山の東端から広瀬川右岸にかけてのエリアで、仙台城跡地の一部と、その堀でありフィギュアスケート発祥の地としても知られる五色沼、春には美しい桜が楽しめる長沼を含む自然豊かな公園です。仙台城の本丸跡からは仙台の街並みや、遠く太平洋を望み、おなじみ伊達政宗騎馬像が仙台市街を見守ります。園内には仙台市博物館や仙台国際センターといった公共施設、復元された茶室「残月亭」、仙台で学んだ中国の文豪魯迅を記念する「魯迅の碑」などがあり、歴史や伝統に触れることができます。

## 仙臺緑彩館がオープン



仙臺緑彩館の外観

仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」から徒歩七分、青葉山公園の玄関口に、仙台の歴史や文化など様々な情報を発信し、多くの人が憩い、集うことができる場所として、仙台藩の重臣・片倉十郎の屋敷跡に令和五年四月に仙臺緑彩館がオープンしました。

入場無料で、施設内には「仙台・青葉まつり」の山鉾(やまぼこ)や、東北三大祭りの一つ「仙台七夕まつり」の七夕飾りの実物が展示され、仙台の祭り文化を体感できます。

仙台青葉まつりの山鉾



また、青葉山周辺や市内の観光スポットや穴場スポットなどを集めて発信しており、スマートフォンでオリジナルの

マップを作成することも可能です。仙台にちなんだメニューを提供するカフェや広瀬川を眺めながらくつろぐことができるテラスもあり、青葉山の季節を楽しむことができます。

## 全国都市緑化仙台フェア開催

令和五年四月二十六日(同六月十八日)には、仙臺緑彩館のある青葉山公園追廻地区、広瀬川地区、西公園南側地区をメイン会場とする国内最大級の花と緑の祭典、全国都市緑化仙台フェア(愛称・未来の杜せんだい二〇二三)が開催され、延べ百万人が来場しました。仙台市では平成元年度に七北田公園で行われた「グリーンフェアせんだい」以来、三十四年ぶりの開催となりました。当時の「水玉ぼっちゃん」のキャラクターが記憶に残っている方もいるのでは。未来の杜せんだい二〇二三では、マスコットキャラクターとして森の妖精「フォレッピー」が市民投票により選ばれました。

メイン会場では、仙台七夕まつりの吹き流しをモチーフとした大花壇に、二百種類十二万株の花々が咲き、来場者の注目を集めました。

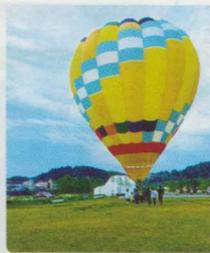


大花壇

## 空から眺める広瀬川

### 熱気球体験

各会場では杜の都の花や緑を楽しむことのできる様々なイベントが行われ、今回の取材では人気の熱気球体験に参加しました。



熱気球体験

当日は風のない良好なコンディションに恵まれ、間近で見る気球は迫力。四方をロープで固定されたバスケットに、操縦スタッフ一名を含む乗員六名が隙間なく乗り込み、スタッフがパーナーに着火すると熱気球はふわりと上昇、高さ約二十メートルの空中で約五分間の飛行体験を楽しみました。揺れはほぼなく、空から広瀬川や仙台の街

並み、母校の方角には仙台二高の校舎も一望でき、気持ちの良い時間を堪能することができました。

この熱気球体験は「第三回仙台市交流人口ビジネスコンテスト」にてビジネス部門大賞を受賞した有会社風の丘が考案した企画「仙台に非日常アクティビティ『杜の都熱気球体験』」であり、仙台市内の公園などで熱気球体験を開催すると、今後この事業も定期開催されるようです。



空から眺める広瀬川と大橋

## これからの青葉山公園

大花壇のあった中央広場は、イベント会場や市民の憩いの場となる芝生の広場として、令和六年夏頃に完成する予定です。周辺エリアも自然散策ができる場所として整備中で、いずれも現在改修工事のため長期休館中の仙台市博物館(令和六年度再開予定)や宮城県美術館(令和七年度再開予定)のオープンも待たれます。母校からも徒歩圏内の新しい青葉山公園へ、高校時代を振り返りながらのんびり散策してみたいかがでしょうか。

## 編集後記

「ないなら作っちゃおう!」走り出したら止まらない!我が校はそんな人ばかりの学校だったなと思います。ここでの三年間の日々が、確かに、私の人生の「道標」です。同窓会報をお読みいただく中で、皆様に、様々な思い出を懐かしみ、ホッとできるひとときをお贈りできました。幸いです。寄稿にご協力くださった皆様、撮影協力くださった方々にこの場を借りて深く感謝申し上げます。(田光 典子)

### 【編集委員】

高31回・昭和54年卒 浅川 美子 栗村麻弥子

高41回・平成元年卒 工藤千賀子

高51回・平成11年卒 舟橋 薫 狩野わか子

遠藤 陽子 田光 典子

川島 綾 芝原 真希

常任幹事 東海林弘子 我妻 謙子

榎田 恵子 佐藤 響子

## 令和6年度総会のご案内

定例会は9月15日(土)を予定し、9月16日(日)に会場を移して第1次定例会を開催いたします。決まりは後日お知らせいたします。

問い合わせ先: 同窓会事務局  
電話・FAX: 022-261-7855(同窓会専用)  
E-mail: info@miyaldotsoukai.com  
(みや1どうそうかい)

総会当番: 高42・52・62回  
会報当番: 高32・42・52回